

故郷へ恩返しを



3月22日(火)にショーワ株式会社(岐阜市)より学校教育事業に対して5万円を寄附していただきました。同社の水谷宏取締役会長(右写真中央)は「高校を卒業するまで養老町で育ったこと、また養老に工場があることなどから、恩返しをしたいという気持ちがあり、この町の未来を担う子どもたちの教育のために使ってほしいと思い、寄附しました」と故郷の発展を願う気持ちを話しました。

いただいた寄附は、まちの輝く未来のために、学校教育の場で使わせていただきます。

この広く美しい世界を子どもたちに



3月29日(火)に樋渡さなえさん(大場)より、自身が制作したボリビアのウユニ塩湖などを題材にした写真集「UYUNI」を寄贈していただきました。樋渡さんは、世界の美しい景色を撮影した写真展をいくつか開催し、今回の写真集も制作するなど活躍しています。今回は「自分が子どもの頃に見ることができなかった広く美しい世界を、子どもたちに届けることで、明るく希望に満ちた夢を描ききっかけになって欲しい」という思いを伝えるために、写真集を寄贈いただきました。

写真集は、町内の小中学校や図書館、れんげの家に寄贈され、子どもたちに夢や希望を与えます。

身近な問題から解決し、より良い地元へ



3月24日(木)に、町生活学校より身体の不自由な人への支援のために車椅子1台を寄附していただきました。平成11年から毎年、町へ車椅子を寄附していただいておりますが、町だけではなく福祉施設などにも寄附活動をしているそうです。寄附された車椅子は、町中央公民館にて貸し出し用として設置しています。

町生活学校は平成4年に創設され、身近な生活課題の解決に向けて、省エネルギー生活や環境にやさしい消費生活、水環境活動への取り組みなど、多岐にわたり活動しています。創設当初は、地元に着目した活動をする1班と、広域的な活動をする2班に分かれていましたが、令和3年度から統合し「養老町生活学校」としてそれぞれの良さを取り入れて活動しています。